

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 3年 2月 28日

公表: 平成 3年 3月

事業所名 ジーニアス・スタディ緑校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0		学習スペース、余暇活動でのスペースを明確していきたい
	2	職員の配置数は適切であるか	3	1	イベントによっては余分にスタッフを配置をして安全に子供たちを見れるように工夫している	人数調整をして安全、安心を提供できるようにしていく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0	4		施設内の整理整頓はもろろのこと、子供たちにも出したものは元の場所に戻すよう教育をしていき、過ごしやすい環境を作っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3	1	感染予防のため、こまめに消毒をし、換気をしている。	毎日清掃をしているし、汚れたらそのままにせずその都度片づけをしている。活動に合わせた空間作りをしていきたい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	0		MTの機会を増やし、情報の共有し業務改善に努める。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	評価表だけでなく、送迎時などに話をしよりよい施設になるようにしている。	出来る限りだが理想に近づけるように改善を続けていく。今回の評価表をみて業務改善につなげていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	1		去年開所のため今回よりHP等で公開していく。今後も継続していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0		保護者アンケートを実施して改善に取り組む。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	研修の内容を議事録にまとめ共有できるようにしている。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0		今後も継続していく。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0		今後も継続していく。
	12	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインに沿って、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0		ガイドラインについての研修会などを行い理解を深め、支援につなげていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	行われている。	こまめに利用者について話をし、必要な支援を提供していく。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	行われている。	親御さん、子供たちの意見を聞きどんなプログラムが一番ベストなのかを検討していき常に新しいものを考えていく。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	行われている。	親御さん、子供たちの意見を聞きどんなプログラムが一番ベストなのかを検討していき常に新しいものを考えていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	行われている。	今後も継続していく。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	行われている。	今後も継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	気になった事例は自己完結しないように他スタッフに共有している。	今後も継続していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0		その都度話して終わりではなく議事録として残していつでも見直せるようにしておく。
20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0		今後も継続していく。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	0	4		今後も継続していく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0		相談員との意見交換はできているが、学校の先生との連携、情報交換をしていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0	4		今後も継続していく。 新しいスタッフに関して就学前の情報を伝えるように準備していきたい。
	26	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0		今後も継続していく。
	27	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0		助言は受けているが研修はしていないので、今後していきたい。
	28	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	0		公園で遊ぶときなどに、周りにいる友達も含めて遊んでいる。
	29	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	部会への参加はしている。	今後も継続していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	送迎時、メール等で連絡を取り情報共有をしている。	今後も継続していく。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	3	1		今後も継続していく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0		今後も継続していく。
	33	放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	3	1		今後も継続していく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	3	1		直接相談を受ける時にお答えをしている。気になることがあったときは、こちらから連絡をさせていただき支援をしている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	4		今後父母会を開催していき、親御さん同士の相談する場を増やしていきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0		今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	2か月に一度広報誌を配布している。	今後も継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0		鍵付きの書庫に保管している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0		利用者と親御さんがしっかりコミュニケーションが取れているか、どちらにも聞いて伝えにくいことなどが無いか、こちらから働きかけた方がいいときは代弁している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4		今後地域の方を招待するイベントを考えていきたい。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	0	4		今後も継続していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	毎月一回は防災訓練の実施している	今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3	1	緊急時対応の用紙を記入してもらい把握している。	今後も継続していく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	3		今後も継続していく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	事例検討会を実施している。	今後も継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	3	虐待防止委員会を設置している。	今後も継続していく。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1		必要に応じて個別支援計画書への記入をしていく。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。